

事務局ご担当者さま

ご面倒をおかけしますが、高教組分会長または書記長へお渡しください（全1枚）

## 新潟高教組

# 地公労確定交渉速報②

2020年11月11日 全組合員配布

## 当局提案前進なし 最大限努力みえず

## 確認書を無視するのであれば臨時削減も白紙だ！

11月10日、地公労は第2回確定交渉を行った。

### 重点要求課題

- ・ 育児・介護にかかる休暇 ・ 再任用賃金水準
- ・ 長時間労働縮減・教職員の多忙化解消 ・ 臨時非常勤の処遇改善
- ・ 「最大限の努力」を示せ

冒頭、知事あて要請署名（指示第64号）9,162筆（高教組312筆（33分会））を提出、県職員の一部金引き下げ提案等に対し、怒りの詰まった声を届けた。

第1回交渉の一部金引き下げ以外の提案がない当局に対し、休暇制度の拡充（育児・介護、家族看護、不妊治療、病気休暇等）について他県状況の注視も含め前進回答の要求をした。「働き方改革も絵に描いた餅、全く実感はない。」と追及し、人事課長は「何かできることはないか部長と相談する」と回答した。臨時非常勤については任命権者で協議との言質を得たことから臨時職員給与の「上限」撤廃も含め12日の新教連交渉で県教委に対し追求する。

臨時削減合意時に確認書で約束をした、「最大限の努力」がみえない当局に対し、不信感、怒りがさらに高まる交渉となったが、最後まで労使合意を目指すことを確認し、次回交渉（11月16日）に臨む。

## 地公労総決起集会 約80人組合員集結

## 確定交渉勝利にむけ、意思統一を行う

吉田議長は挨拶の中で、臨時削減の経過を踏まえつつ、最大限の努力がみえない当局に対して、確認書の徹底を求めるとともに、要求項目を一步でも前進させること、長時間過密労働で働く組合員の労働条件改善を強く約束した。

事務局長情勢報告では現状説明の中で、勧告通り引き下げを行うのであれば、臨時削減の減額、それが最大限の努力である。確認書を履行するために最大限考えている姿勢が見えないと話をした。

集会決意表明では、高教組から新潟翠江分会小船井分会長が「教育現場の置かれている厳しい現状」を強く具体的に訴え、地公労の鋼の団結をさらに深めた。

当局確認：結婚休暇（取得可能期間は社会通年上合理的な期間内）

→ 新型コロナウイルス影響について、取得可能期間は個別で考慮する